

1 これまでの経過

(1) 市制100周年記念事業

令和4年3月 「川崎市市制100周年記念事業の基本的な考え方」策定

・市制100周年という歴史的な節目に向けて、市全体を盛り上げるため、そして市制100周年記念事業を一度性のイベントとしないため、さらには「あたらしい川崎」を生み出していくさまざまな施策を展開していくにあたっての基本的な考え方

基本方針

- (1) 本市ブランドメッセージへの共感を喚起する。
- (2) 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。
- (3) 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

実施期間

記念事業期間：令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

(2) 全国都市緑化かわさきフェア

令和4年2月 「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」策定

・かわさきフェアでは、みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、フェア開催以降にもつながる様々な取組を、フェア開催前から展開していく。

名称

第41回 全国都市緑化かわさきフェア

主催者等

主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体：川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会（以下「実行委員会」という）

開催期間

令和6年10月中旬～11月上旬、令和7年3月上旬～3月下旬

会場

コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

協賛連携会場等：駅、商業施設、民有空地、区役所、緑化推進重点地区、公園緑地、バーチャル会場等

2 実行委員会の組織に向けた取組

「基本的な考え方」を踏まえ、オール川崎市の組織体である実行委員会の設立に向け、次のとおり取組を推進

令和4年6月 本市に縁のある団体・企業等に実行委員会参画に向けた案内を開始（約300団体）

令和4年7月 実行委員会の設立に向けて準備会を設立、協議

準備会の概要

①目的

市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアをオール川崎市で推進する実行委員会の設立に向けて、準備・検討を行う。

②開催回数

全2回（7/5、8/3）

③準備会会長

伊藤 副市長

④構成団体（計15団体） ※公益性の高い団体等で構成

川崎市	川崎市全町会連合会	公益財団法人川崎市産業振興財団
一般社団法人川崎市観光協会	川崎市総合文化団体連絡会	公益財団法人川崎市文化財団
一般社団法人川崎市商店街連合会	川崎商工会議所	公益財団法人かわさき市民活動センター
川崎工業振興倶楽部	川崎信用金庫	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
川崎市工業団体連合会	公益財団法人川崎市国際交流協会	セレサ川崎農業協同組合

⑤協議事項

推進体制、市制100周年記念事業コンセプト、緑化フェアのテーマ・ロゴの考え方等

3 実行委員会の概要

(1) 目的

令和6年に迎える市制100周年の歴史的な節目に、本市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有するとともに、この契機を次の100年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくスタートラインとすることを目指し、オール川崎市で市制100周年記念事業の積極的かつ円滑な推進を図るため、必要な事業等を行うとともに、全国都市緑化かわさきフェアを開催し、都市緑化に関する意識の高揚、知識の普及等を図ることにより、都市緑化を推進し、もって緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与する。

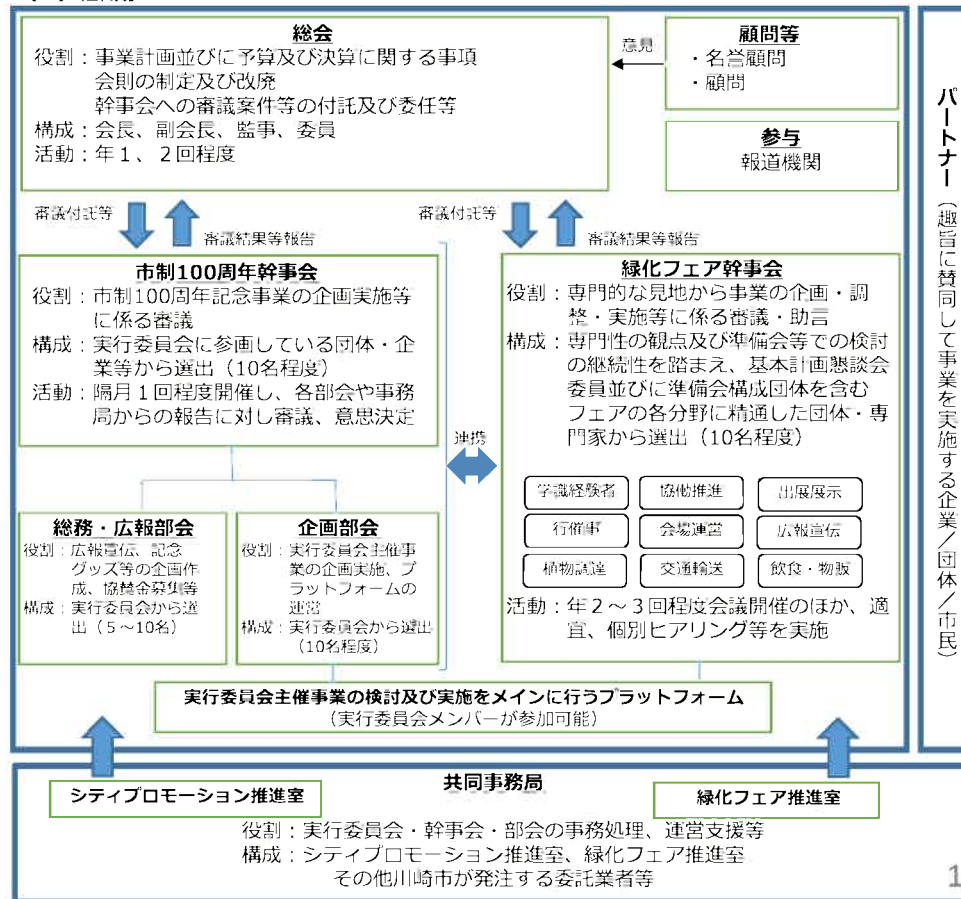
(2) 事業

- ① 実行委員会が主体となって行う記念事業の企画及び実施に関すること。
- ② フェアの企画、準備、開催及び運営に関すること。
- ③ 趣旨に賛同する団体・企業等が主体となって行う記念事業の承認に関すること。
- ④ 記念事業、フェアの広報及び啓発に関すること。
- ⑤ その他、目的を達成するために必要な事業に関すること。

(3) 委員要件（①～④のいずれかに該当。入会は随時可能）

- ① 次のいずれにも該当する団体・企業等
記念事業及びフェアの目的に賛同/市内に事業所や拠点がある又は市内で活動/暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有しない/風俗営業に該当する事業等を行わない/法人市民税等の滞納なし/法令遵守/公序良俗に反しない
- ② 経済・観光団体、造園・緑化団体、花き・園芸団体等の団体
- ③ 関係行政機関
- ④ その他関係機関、団体、フェア開催の関係者

(4) 組織等



パートナー（趣旨に賛同して事業を実施する企業/団体/市民）

4 設立総会及び第1回総会の概要

- (1) 日時
令和4年9月1日(木) 15時30分～16時50分
- (2) 開催方法
ハイブリッド形式(対面開催、オンライン併用)
- (3) 場所
川崎市産業振興会館ホール(幸区堀川町66-20)
- (4) 出席人数
約240名(オンライン出席者を含む)
- (5) 次第
 - ア 設立総会
 - ・市長プレゼンテーション
 - ・かわさきスペシャルサポーター発表
 - ・来賓紹介、あいさつ
 - ・議事(実行委員会の設立等)
 - ・役員等紹介、あいさつ
 - イ 第1回総会
 - ・議事(市制100周年記念事業基本計画、事業計画、予算等)



市長プレゼンテーションの様子

設立総会の様子

参画団体数

276団体
(顧問を除く)

9月1日現在



川崎市市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェア ロゴ

【参考】実行委員会役員及び顧問等

役員

会長
市長

副会長
市議会議長、商工会議所会頭、
3副市長、全町内会連合会会長、
市社会福祉協議会会長、
総合文化団体連絡会理事長、
都市緑化機構理事長(緑化フェア担当)

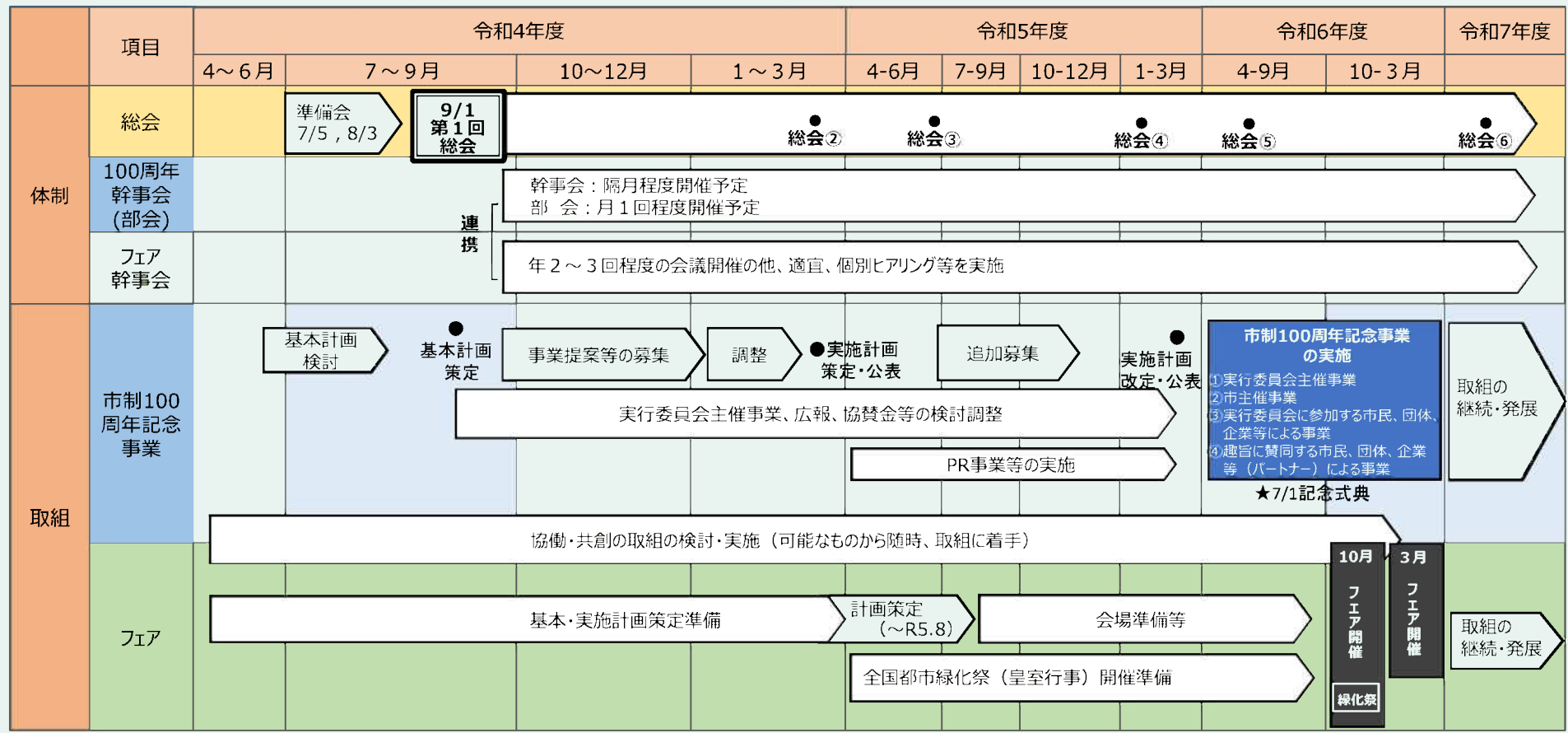
監事
市会計管理者、
都市緑化機構事務局長
(緑化フェア担当)

顧問等

名誉顧問
国土交通大臣(緑化フェア担当)

顧問
国土交通省都市局長(緑化フェア担当)
関東地方整備局長(緑化フェア担当)
神奈川県知事(緑化フェア担当)
都市緑化機構会長(緑化フェア担当)
斎藤文夫氏
藤嶋昭氏
東京都市大学・環境学部
特別教授 浦井史郎氏(緑化フェア担当)

5 市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア 今後のスケジュール



かわさきフェア会場計画と多様な主体との協働・共創の取組 論点メモ

幹事会において、**今年度中**に決定したい事項や議論したい内容等について、次のとおりポイントをまとめる。

フェアで大切にしたい視点：**様々な主体が重なりあい、つながりあいながら、みどりの新たな価値を生む**

キーワード：**持続可能、「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」、多彩なみどりの多様な効果**

● **第 1 回幹事会で議論したい内容**（その他は個別ヒアリング等により確認）

P.2 基本的事項

● **開催期間の具体的な日にちの決定**

- ・ 木、花の見頃や訪問者の訪れやすい時期、富士見公園のリニューアルオープン等を勘案し、2 期開催としたところであり、より詳細な日程の決定に向けて留意する点は何か 等

P.3、4 コア会場（周辺エリア含む）

● **主要駅からコア会場間の資源の活かし方（会場ごとの地域特性に応じて検討）**

- ・ 3 つのコア会場を 1 日で巡るのではなく、会場周辺を含めて、それぞれの地域の資源を見てもらうことを想定しており、主要駅から会場までの道のりにおいて、みどりを感じながら歩いて楽しめる空間とするにあたり留意する点は何か（資源例：公園、散歩道、商店街、商業施設、学校等） 等

P.5 出展展示・植物調達(管理)

● **開催時期及び各エリアのコンセプトに応じた展示内容**

- ・ 各区の花や木など、本市の特徴を活かした展示の工夫をどのように行えばよいか 等

● **地域と連携した効率的かつ効果的な花卉調達の手法**

- ・ 市場への影響等を踏まえ、市民、地域との協働による調達を取り入れるなどの効率的かつ効果的な花卉調達をどのように行えばよいか 等

● **無駄にならない花卉等のリサイクル方法**

- ・ 来場者への無償提供や別の場所での再展示、再利用などの他、どんなことが考えられるか 等

P.5、6 会場運営、協働推進

● **(仮称)ボランティアの活用項目と募集方法**

- ・ どのような取組にボランティアを活用するのか、また、市民総参加型を実現する参画手法はどのように行えばよいか 等

● **フェア終了後も継続できる協働推進の仕組みづくり**

- ・ 多様な主体と連携するなど、一過性にならない取組とするための仕組みはどのようなことが考えられるか 等

● **交通輸送のあり方**

- ・ 公共交通機関の利用を前提としつつ環境への配慮やエリアの特性を踏まえた交通サービスはどのようなものが考えられるか 等

P.6 広報・PR

● **市制 100 周年記念事業と連携した広報・PR、行催事、飲食・物販**

- ・ 市制 100 周年記念事業（市のブランディング等）と連携した効果的な発信方法は何か

● **市内と市外でターゲットや媒体を精査した、効果的な広報・PR、行催事、飲食・物販**

- ・ 市民向けに行う内容と、全国からの訪問者向けに行う内容のそれぞれで、効果的な発信方法は何か

1 川崎市市制100周年記念事業基本計画 Colors, Future! Actions ガイド

1 コンセプト

川崎市ブランドメッセージ「Colors,Future! いろいろって、未来。」の実行による未来の可能性の場づくりをしていくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。



2 プラットフォーム

- コンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設け、市内のさまざまな主体が重なりあい、つながりあいながら、記念事業を「Action」として展開していきます。
- 「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。



市制100周年記念事業プラットフォーム (川崎市の未来を構築し、実現へ共創する活動の場)

Colors, Future! Actions

一人ひとりの“好き”を掛け合わせることで、いつかふにめた人々の絆をつくらせていく



実行委員会
市民等(パートナー) 川崎市(各局区)

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th



【15のActionテーマ(ラベリング)】

3 事業構成

記念事業は、次の4つで構成されます。

- ① 実行委員会主催事業
- ② 市主催事業
- ③ 実行委員会に参加する市民、団体、企業等による事業
- ④ 趣旨に賛同する市民、団体、企業等(パートナー)による事業

なかでも全国都市緑化かわさきフェアは、市制100周年記念の象徴的事業として、実行委員会による様々な事業を展開していきます。

2 全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子

1 全国都市緑化フェアについて

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いある都市づくりに寄与するものです。



第36回 信州フェア 全国都市緑化祭 (皇室による記念植樹)



第38回 くまもとフェア 街なかエリア

2 かわさきフェアを契機とした「みどりのまちづくり」に向けた取組

1 みどりのまちづくりに向けて

緑を取り巻く社会状況の変化や市民ニーズの多様化に柔軟に対応しながら、みどりが持つ多様なポテンシャルを、川崎の共有の財産として認識するとともに、その効果が実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体が将来像を共有しながら、みどりのまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

2 取組姿勢・目指すべき将来像

かわさきフェア開催以降にもつながる様々な取組を、かわさきフェア開催前から展開していきます。

【目指すべき将来像】

みどりをつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち

3 取組方針

【基本理念Ⅰ】かわさきフェアは、「みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、みんなが暮らしの中で上手に活用する取組」を推進します。
～ 100年先の笑顔のために、持続可能で最先端の都市緑化の推進 ～

・みんなが生き生きと居心地よく活動できる空間の創出、質の高いみどりを取り入れる仕掛けづくりを行うとともに、グリーンインフラの取組が推進できるよう、生物多様性の保全等に配慮し、地域の特性に応じたみどりの適正な保全、創出、育成及び活用を進めます。
・次の100年も、川崎に住みたい、暮らしたいと思われるよう、社会状況の変化や市民の多様なニーズに対応しながら、最先端の技術が集積する川崎ならではの都市緑化を推進します。

【基本理念Ⅱ】川崎の多様な人・暮らし・みどりを結びつけることで、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」を推進します。
～ みどりが持つ力で、誰もがオープンにつながり、様々なイノベーションを起こす社会モデルの構築 ～

・市民、企業等あらゆる主体が自由に参加し、協働・共創で、それぞれの持つ独自の技術や柔軟なアイデア、ノウハウ、知識などを組み合わせることにより、川崎のみどりの新たな価値を生み出す仕組みを構築し、全市的なみどりのムーブメントにつなげていきます。

【基本理念Ⅲ】かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、次の100年に向けて、川崎らしく豊かな環境をつないでいきます。
～ 誰もが生きる喜び、幸せを感じられる多様なあふれる文化の創出 ～

・地域の愛着を高め、市民一人ひとりが生きがいを持って活躍できるといった、川崎らしい多様なあふれる文化の創出につながる取組を推進します。
・みどりの多様な効果をできる限り見える化し、わかりやすく普及啓発することで、みどりを大切にす豊かな心を育む取組を推進します。

3 全国都市緑化かわさきフェア 行催事等計画(骨子)

～ 新たに決まった統一主題・シンボルマーク等とともに次ページで詳しく説明 ～



【取組例】みどりを取り入れる仕掛けづくり



<協働・共創の取組イメージ>



【取組例】みどりの効果をわかりやすく普及啓発

3 全国都市緑化かわさきフェア 開催計画

1 コンセプト・基本方針

- かわさきフェアでは、**みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していきます。**
- そのため、開催意義、基本理念、取組方針に加え、国土交通省が平成25（2013）年度に提案した「これからの全国都市緑化フェアに求められる役割」を踏まえ、次のとおり、かわさきフェアの基本方針を設定しました。

【コンセプト】 **Green For All！みどりのムーブメントを起こします**

【基本方針】

かわさきの多様なみどりの“力”を感じるフェア	先端技術で新たな都市緑化の“形”をつくるフェア	多様なみどりでつながる“行動”を生み出すフェア	環境・社会・経済的価値を同時に実現できる“社会”を示すフェア	かわさきらしい多様な文化を育むフェア
生物多様性や都市が抱える様々な課題の解決につながるグリーンインフラの持つ多様な機能や効果の発信など	フェアを通じて、川崎の持つ最先端の技術、アイデアによる新しい都市緑化の実現 など	多様な主体がつながり、フェア開催後も、みどりの新たな価値を生み出していく仕組みづくり など	川崎の強み（自然環境、先進技術、観光資源など）を活かして、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向けた、みどりが持つ多様なポテンシャルの発信 など	地域への愛着を持った市民一人ひとりが、暮らしの中でみどりと関わりながら、地域性あふれる多様な文化を育む機会の創出など

2 基本的事項

- 名 称** 第41回 全国都市緑化かわさきフェア
- 主催者等** 主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体：かわさきフェアの実行組織として実行委員会を設立
- 開催期間** 地域資源を活かした個性的な取組を全市的に展開していくため、木や花の見頃などを踏まえて、次のとおり、秋、春の季節ごとに開催期間を設定しました。
令和6年10月中旬～11月上旬(20日間程度) / 令和7年3月上旬～3月下旬(30日間程度)
- 会 場** コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等：駅、商業施設、民有空地、緑化推進重点地区、公園緑地、バーチャル会場 等

- 統一主題** 「みどりで、つながる。みんなが、つながる。」
- 愛 称** 「Green For All KAWASAKI 2024」
- シンボルマーク**

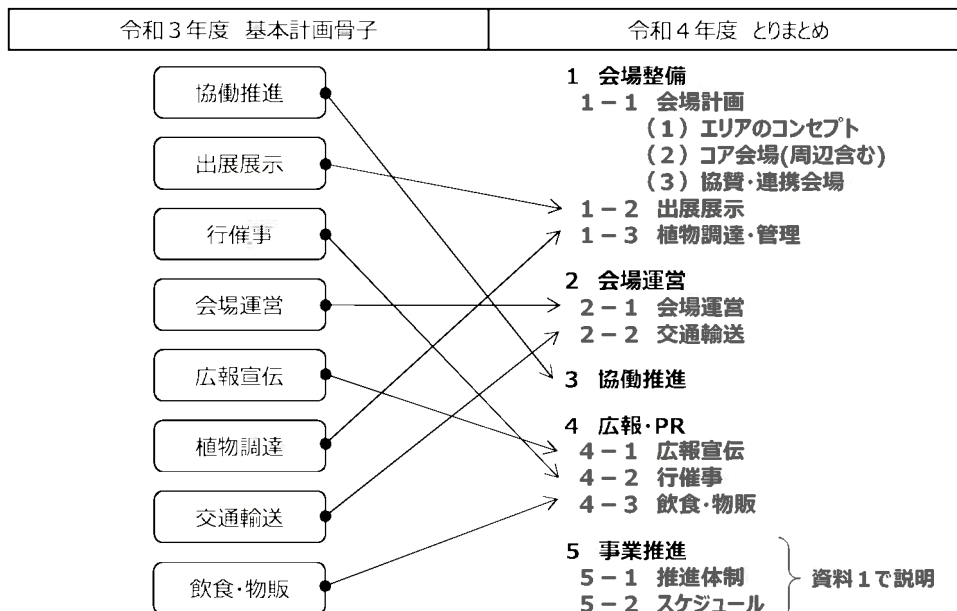


市制100周年記念事業「Colors,Future! Actions」の取組の一つである「Green For All」を表現するため、みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動（アクション）がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見たてて表現しています。

- 入場者規模、概算事業費** 基本・実施計画において決定

3 各種計画の構成

今後、各事業を効率的に計画するため、次の構成でまとめます。



4 各種計画の内容

1 会場整備

1-1 会場計画

(1) エリアのコンセプト等

- かわさきフェアでは、「**まちの特色×地域の多彩なみどり×活動する人々**」により、質の高いみどりとオープンスペースを創出し、「**川崎らしい都市の中のみどりの価値**」を発信する**3つのエリア**を設定しています。
- 各エリアについて、基本計画骨子やそれぞれの魅力や特色等を踏まえて、コンセプトを設定し、多様な主体との協働・共創の取組や行催事・出展展示等を行い、市民総参加型のフェアを実現します。
- フェア開催中は、**コア会場及び周辺エリアごとに、主要動線周辺の協賛・連携会場と一体となって、各エリア内の回遊を促す仕掛け**を展開します。
- コア会場及び駅からコア会場までのメインアプローチ等**は、様々な取組のショーケースと位置づけ、フェアのコンセプトや各会場の特色にあわせた仕掛けや演出を展開します。

富士見エリア … 「**多様性**」 ×みどり
 等々力エリア … 「**体験・体感**」×みどり
 生田エリア … 「**歴史・文化**」×みどり

【各エリアのコンセプト】



【コア会場及び周辺エリア イメージ】

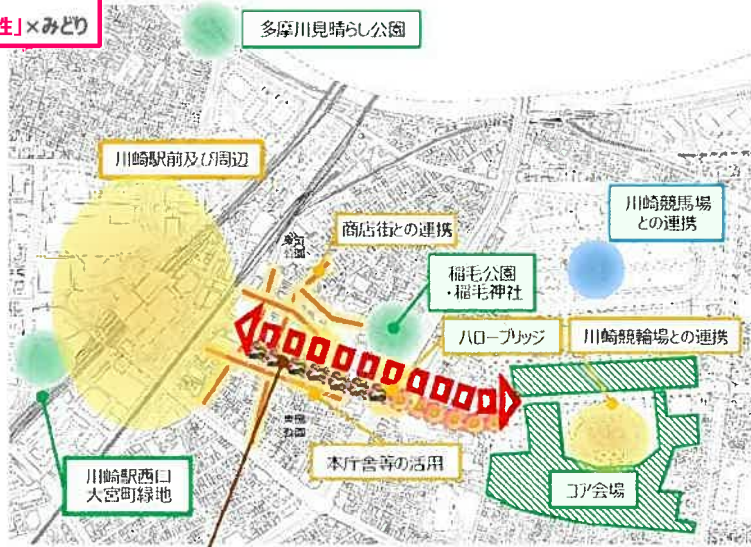
市内の様々な取組が花開くショーケースとなる空間を創出し、来場者呼び込む仕掛けを展開します。

3 全国都市緑化かわさきフェア 行催事計画

(2) コア会場

【富士見エリア】

コンセプト：「多様性」×みどり



【等々力エリア】

コンセプト：「体験・体感」×みどり

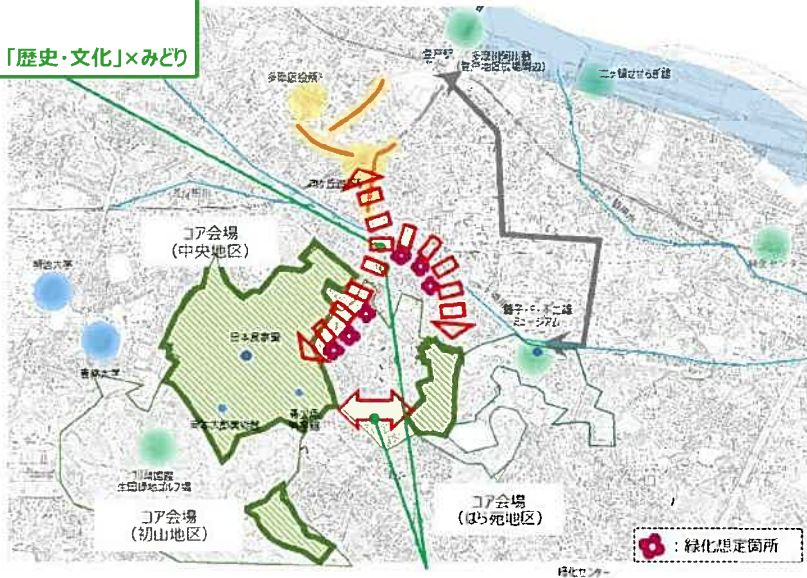


エリアの考え方	協働・共創による、川崎の多様な魅力・文化・技術を反映した、みどりとオープンスペースの活用を展開し、あらゆる人々が、みどりの価値に触れ、実感できる空間を創出します。
富士見エリア	<p>1 川崎駅前の空間を活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> フェアを契機として、駅前空間を活用した様々な取組を拡大し、「日常」をさらなる賑わいある空間にします。 地域や企業・各局区との取組と連携し、まちを訪れるあらゆる人が、憩い、楽しむことで、街中に人があふれる仕掛けを、展開します。 川崎の多様な魅力・文化が、まち全体にあふれ出す仕掛けとして、フェア開催期間中において、まち全体を活用した光や音・パフォーマンス等の演出とみどりを掛け合わせ、「特別な日」を演出します。 <p>2 駅から会場までのアプローチを活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> フェアへの期待感を演出するための川崎駅からコア会場までのオープンスペースの活用します。 みどりを感じながら歩いて楽しめる空間の創出します。 ※本取組を契機として、憩いやにぎわいの創出に向けた道路空間活用をより積極的に推進
富士見公園	<p>1 エントランス広場・富士見球技場周辺部</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民総参加でおもてなしのガーデンを制作します。 <p>2 芝生広場・プロムナード・東側広場 他</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士見公園再編整備の考え方を踏まえたみどりの新たな見せ方・使い方の発信します。 <p>3 カルッツかわさき</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内空間における行催事等を開催します。

エリアの考え方	<ul style="list-style-type: none"> 地域の様々なみどりや水辺等を活用し、みどりを身近に感じ、リラックスしながら自由な時間が過ごせる空間を創出 スポーツやアクティビティを中心とした様々な体験・体感の場を創出し、地域のコミュニティの核となる魅力的なみどりとオープンスペースの活用につながる取組を展開
等々力エリア	<p>1 小杉駅の空間を活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、地域団体、企業等と連携し、駅前広場や駅周辺の民間空地、公園緑地、道路空間など、駅周辺の様々な空間において、フェア後の地域のつながりを生み出す魅力的なオープンスペースの活用につながる様々な取組を展開 <p>2 駅から会場までのアプローチ空間を活かした取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な公園緑地、水辺空間や神社仏閣、商店街等の地域資源とともに、地域の身近なみどりの魅力にふれ、楽しむことで、地域とのつながりを生み出す様々な仕掛けを展開 <p>3 多摩川を活かした取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩川の豊かな水資源や水辺環境を活かした遊び・交流の空間の創出により、様々な体験・体感を通じて水やみどりとふれあい、楽しむ取組を展開
等々力緑地	<p>1 正面広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 『観る緑』から『体験・体感するみどり』へ展開 <p>2 等々力緑地内のオープンスペースや屋内施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> 等々力緑地再編整備の目指すべき将来像を踏まえ、地域の企業や学校、プロスポーツチーム等と連携し、再編後の日常的な刺激を受けられる公園づくりにつながる様々な体験・体感の場を創出

3 全国都市緑化かわさきフェア 行儀事計画

【生田エリア】
コンセプト：「歴史・文化」×みどり



(3) 協賛・連携会場



◎ コア会場及び周辺エリア
市内の様々な取組が開くショーケースとなる空間を創出し、来場者を呼び込む仕掛けを展開

◎ 主な協賛・連携会場

・市民向けの会場として、地域の様々なみどりとオープンスペースにおいて、各会場の日常的な活動や取組をフェアを通じて発信



- 周辺の協賛・連携会場は、様々な取組のショーケースと位置づけ、フェアのコンセプトや各会場の特色にあわせた仕掛けや演出を展開します。
- 市内の様々なみどりとオープンスペースについては、主に市民向けの協賛・連携会場として、各会場の日常的な活動や取組を、フェアを通じて発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。
- 多くの人が行き交う主要駅及び周辺（溝の口駅、新百合ヶ丘駅周辺など）の協賛・連携会場については、企業・市民団体等と連携し、フェアを通じて取組やその成果を発信します。

※コア会場の設えや企業等と連携した具体的なコンテンツについては、各会場指定管理者や連携企業等と要調整

課題 → 各会場内での具体的なゾーニング等の整備内容について検討・調整を行う必要があります

エリアの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のプラットフォームである生田緑地マネジメント会議を中心に、これまで培ってきた協働の取組を活かして、歴史・文化を楽しみながら学ぶ様々な取組を展開 ・人と自然とのつながりの中で、自然を感じ、楽しむことのできる機会を提供し、新たな協働の担い手の確保や自然の保全と利活用の好循環の創出につながる取組を展開
生田エリア	<ol style="list-style-type: none"> 1 駅から会場までのアクセス路を楽しむ取組 <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて楽しめるまちとみどりの魅力発信にむけて、周辺の地元町会や活動団体、文化施設等と連携し、花壇づくりやレスト空間の創出、回遊を促す取組を展開 2 周辺と連携した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・自然にふれあい、楽しみながら知り、学ぶ場の創出に向けて、コア会場周辺にある大学や川崎国際生田緑地ゴルフ場等と連携し、体験型プログラムを展開 3 誰もが楽しめる散策機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・生田緑地内やエリア全体の地形や距離等による移動の負担を軽減することにより、回遊性向上を図り、誰もが楽しめる仕掛けとして、既存の路線バス等の活用に加え、新たなモビリティを導入 4 駅前・商店街の空間を活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・向ヶ丘遊園駅周辺や商店街等と連携した取組を展開
生田緑地	<ol style="list-style-type: none"> 1 生田緑地全体 <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働により、生田緑地の自然と、歴史・文化を知り、学ぶ取組 2 中央地区・初山地区 <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設等と連携し、体験を通じて、みどりを学ぶ仕掛けの展開 ・体験を通じた保全活動の普及促進 ・昔ながらの遊び（原体験）体験の場の提供 3 ばら苑地区 <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働により、バラと自然の魅力を最大限に活かす取組の展開

3 全国都市緑化かわさきフェア 行催事計画

1-2 出展展示

- かわさきフェアのコンセプト及び基本方針、各エリアのコンセプト等に基づき、様々な分野の取り組みとの連携し、多様なみどりや先進技術等の手法等を活用しながら、各エリアの持つ魅力を発信するための取組を展開します。
- 市民の日常生活に溶け込んだ、身近なみどりの魅力を体験・体感できるような企画展示を展開します。

【展開イメージ】

- 多様なみどりと、環境、教育、文化、歴史、農、福祉、先進技術、観光等の各分野と連携した川崎の多様性あふれる魅力や強みを感じる機会の創出
- 身近なみどりの魅力を体感し、暮らしの中にみどりを取り入れる楽しさ、心地よさを感じる展示
- 他自治体と連携した出展花壇 等



(例) 川崎国際環境技術展

課題 会場及び出展区分（自治体、企業・団体、個人）ごとの計画等の検討・調整を進める必要があります

- ・自治体 例) 都道府県出展花壇、政令指定都市出展花壇 など
- ・企業・団体 例) 各種コンテスト など
- ・個人 例) ハンギングバスケット、生け花 など

1-3 植物調達

- かわさきフェアの出展展示や行催事等において使用する花き・植物について、市内生産団体等と連携・協力して、市場への影響にも考慮した植物調達体制を構築します。
- 7区の花や木のほか、地域で生産されている花き・植物を積極的に活用することで、認知度とブランド力を高め、かわさきフェア終了後も需要が持続する取組を検討します。

【展開イメージ】

- 地域の生産者、造園業者や教育機関、企業等と連携・協力した計画的かつ安定的な生産・供給体制の構築
- 各会場の既存の花き・植物等を活かした生物多様性や生態系に配慮した植物供給の検討 等



(例) ロスフラワーの活用

課題 植物調達だけでなく、会期中の維持管理等の考え方について検討・調整を進める必要があります。

2 会場運営

2-1 会場運営

- 市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協働した運営手法を導入し、環境や安全面に配慮するとともに、誰もが快適に参加できるような適切な会場運営を行います。

【展開イメージ】

- 多様な主体との連携・協働体制の構築による市民総参加型の会場運営
- 市内の企業、団体等の参画促進のための多様な協賛形態の構築、募集の実施



(例) 多様な主体との連携・協働による会場運営

課題 会場及び出展区分（サービス内容、管理項目）ごとの計画等の検討・調整を進める必要があります

- ・サービス内容 例) 案内・情報、貸出・預かり、紛失物、高齢者、障がい者、外国人対応 など
- ・管理項目 例) 防犯・防災、警備、清掃・ゴミ など

2-1 交通輸送

- 公共交通機関の利用を前提としつつ、多様な交通手段と連携し、来場者の円滑な輸送手段を確保し、市内各会場間の回遊性の向上を図ります。
- 環境に配慮した交通輸送を展開します。

【展開イメージ】

- 既存の公共交通機関の利用促進及び交通量増加等による周辺への影響を踏まえた複数動線の設定、車両誘導、駐車場確保等の交通対策の実施
- バス、電車、シェアリングサービス等の活用による、利便性が高く市内各会場への移動が楽しくなる仕掛けの検討
- 交通負荷の抑制や人流を分散する先進技術（MaaS等）の積極的な活用の検討



(例) 「しんゆりMaaS」実証実験 (出典：小田急電鉄)

課題 会場及び交通輸送区分ごとの計画等の検討・調整を進める必要があります

- 例) 交通輸送、駐車場計画、輸送経路計画、交通誘導計画 など

3 全国都市緑化かわさきフェア 開催事計画

3 協働推進

- 「行動を文化」にするため、一過性に留まらない市民総参加型のフェアを開催します。
- 多くの人を巻き込んだ協働・共創による取組により、各エリアの開催事・出展展示等を実施します。
- 市制100周年記念事業や各局区と連携した取組を実施します。

【展開イメージ】

(フェア開催前)	<ul style="list-style-type: none"> ●各局区のイベントや取組等と連携し、フェア開催に向けた気運醸成や認知度向上を図ります ●市民、地域の団体、企業等の多様な主体を巻き込むための仕掛けを展開します 	 <p>(例)公共空間を活用したみどりとオープンスペースの創出、協働の取組など</p>
(フェア開催中)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民一人ひとりがみどりとつながり、市民総参加でつくりあげるフェアの開催します -コア会場及び周辺エリアにおいて、各会場のコンセプトを踏まえ、各局区をはじめ、市内の様々な主体との協働・共創による取組やその成果を発信します -市内の様々な協賛・連携会場において、地域の主体による日頃の活動や取組を発信します 	
(フェア開催後)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民、地域団体、企業等の多様な主体との協働・共創により、まちの至るところにおいて、日常的に憩い、集い、賑わう質の高いみどりとオープンスペースを創出するとともに、家やオフィスなど、日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人とまちのつながりを生み出すことを実現します 	 <p>日常的に憩い、集い、賑わう質の高いみどりとオープンスペース 日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通してつながりが生まれる空間</p>

課題 → 会場及び出展区分（サービス内容、管理項目）ごとの計画等の検討・調整を進める必要があります

4 広報・PR

4-1 広報宣伝

- 効果的かつ効率的な広報・PR戦略を全市的に展開するため、市制100周年記念事業や各局区と連携した取組を実施します。
- 川崎の多様性や魅力を全国に発信するとともに、すべての世代に幅広く浸透させるため、かわさきフェア開催前から広報を展開し、機運を高めます。

【展開イメージ】

- 地域の様々な情報媒体やSNS等の活用による戦略的な広報
- シティブロモーションと連携した効果的な取組の発信
- 地域愛の醸成につながる農産物や特産品等を活用した川崎の魅力の発信 等



(例) SNSを活用した広報宣伝
(出典：富山市 amazing_joyama)

課題 → ターゲットごとの効果的な媒体等を整理した計画等の検討・調整を進める必要があります

4-2 開催事

- 既存イベントや地域の取組と連携した市民発信型の開催事をかわさきフェア開催前から展開します。
- 川崎の多様なみどりや水などの特色ある自然の魅力を知り、体感できる取組を推進します。

【展開イメージ】

- 市民、企業等が主体となったこれまでの取組の成果を発信する、コンクール、シンポジウムなどの開催
- かわさきフェア開催前から、市民、企業、団体等と連携した取組による普及啓発、機運醸成
- 市民、企業等とともに盛り上げ、川崎の多様性あふれる魅力や強みを市内、全国に発信するための公式行事（内覧会、開閉会式、全国都市緑化祭等）の実施 等



(例) わがまち花と緑のコンクール

課題 → 開催事区分ごとに整理した計画等の検討・調整を進める必要があります

(例) プレイイベント、公式行事、コンテスト、シンポジウム など

4-3 飲食・物販

- 生産者や飲食店等と連携・協力して、地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供します。
- 衛生や環境面に配慮したサービスを提供します。

【展開イメージ】

- 生産者や飲食店、民間事業者等と連携した川崎の特産品の提供
- 川崎の農産物等を使用した料理や川崎ならではの食文化の発信につながるご当地グルメ等の提供
- 感染症対策の徹底や食品ロス対策、容器のリユース・リサイクルなどの取組の推進



(例) 麻生区Vege & Art Fes

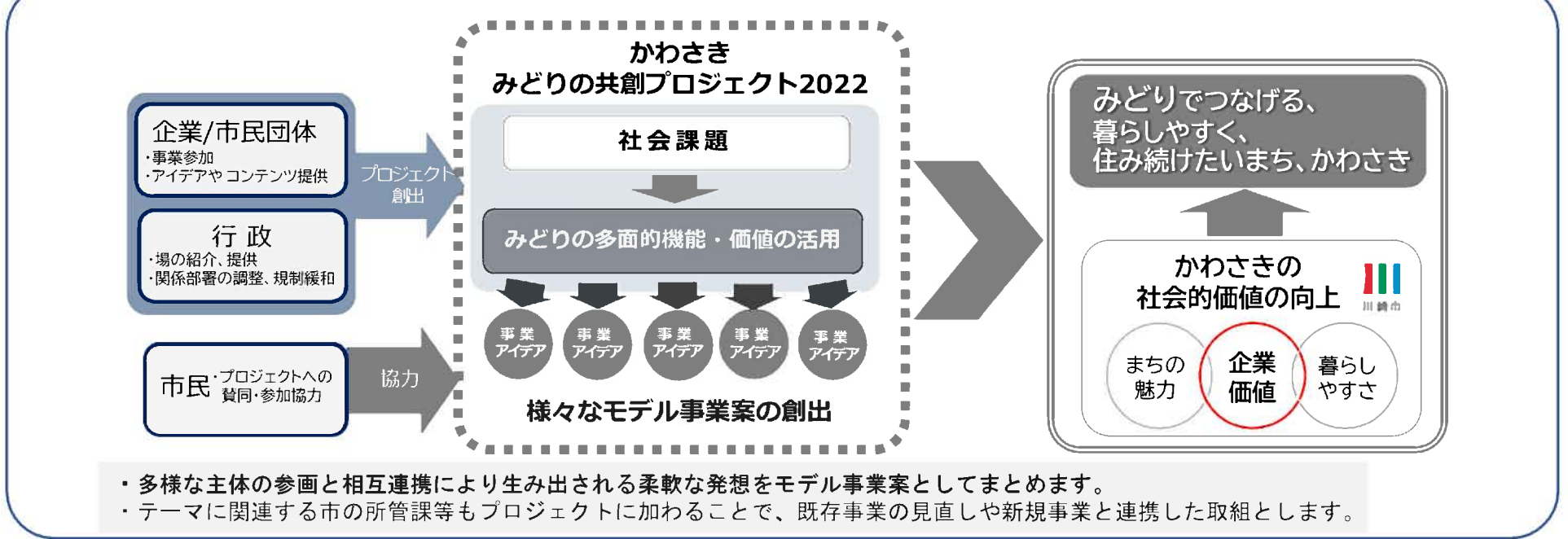
課題 → エリアの特性に応じた効果的なサービス計画等の検討・調整を進める必要があります

かわさき みどりの共創プロジェクト2022 企画概要

目的

本プロジェクトは、川崎市市制100周年記念事業プラットフォーム「Colors, Future Actions」第一弾の取組として、全国都市緑化かわさきフェアの開催を機に、**みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創**により、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指すものです。**全国でも例を見ない先駆的取組として**新しい川崎のみどりの文化を醸成する共創プロジェクトを実施したく、皆さまの御参加をお待ちしています。

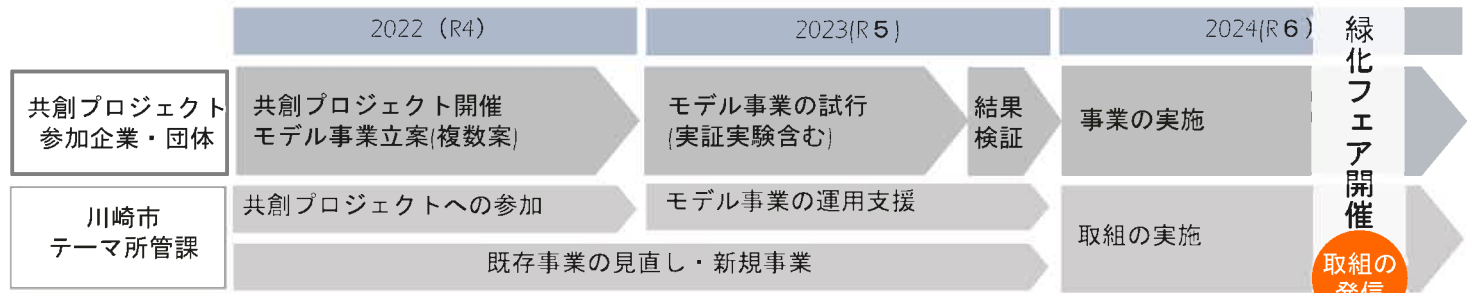
共創プロジェクトの目的とプロセス



今後の展望

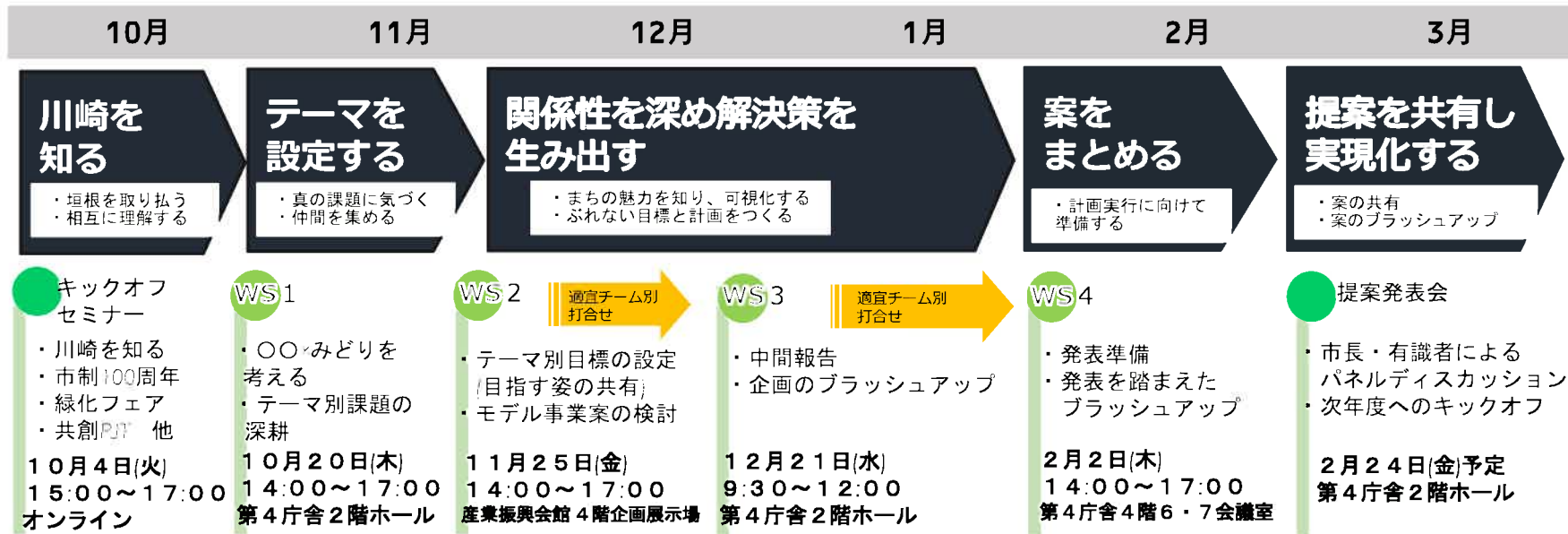
共創プロジェクトにより創出したモデル事業案は、令和5年度予算等を活用し、F/S(実行可能性調査)等を行います。

令和6年度に開催する『かわさきフェア』にて取組を発信し、これを機に取組の継続・発展および自走化を目指します。



共創プロジェクトの流れ

延べ4回のワークショップを開催します。課題解決したい具体的なプロジェクトテーマを設定し、テーマごとにチームに分かれてモデル事業案を企画・検討し、最終回に提案を発表します。



● プロジェクトおよびテーマの考え方

参加者同士の対話から『川崎らしい都市の中のみどりの価値』を生み出すプロジェクトテーマを複数設定します。

「〇〇×みどり」

企業の皆さまが有する柔軟なアイデアやノウハウ、技術を川崎のみどりと掛け合わせることで、行政単体では実現不可能な、新しい価値を生み出す『暮らしやすく、住みやすいまち』が実現できると考えます。

本プロジェクトの参加を新たなビジネスチャンスや、企業価値向上の機会と捉え、ぜひ、御参加をお願いいたします。

COLORS FUTURE! ACTIONS

KAWASAKI 100th



● チーム構成

1つのテーマごとに、企業・団体及び川崎市職員が参加し、関心事が近い人や属性を事務局で調整し、延べ10名程度のチームを構成します。

- 企業・団体
 - ・川崎市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の参加者 等
 - ・50~60団体程度を想定
- 川崎市
 - ・プロジェクトテーマに関連する所管課
 - ・政策形成の関連課

● 参加にあたって(お願い)

- ・事業連携や共創実績のある方だけでなく、実績がなくともこうした取組に興味がある方など、積極的かつ建設的な協議を得意とする方の御参加をお願いいたします。
(本取組により創出されたモデル事業案は、実証実験等を経て事業化することを想定)
- ・参加にあたって、専任のご担当者をお決めいただくことが望ましいものの、都合が悪い回は別の方に参加いただき、内容を受けて別の方又は複数で参加いただいても構いません。
- ・みどりに関連しない多様な企業・団体の参加も歓迎します。

共創プロジェクトの想定されるテーマ

想定されるラベリング	想定テーマ と 生み出したい価値
<p>1</p>  <p>ACTION 03 ビジネス・インキュベーション</p> <p>ACTION 01 グリーン・コミュニティ</p>	<p>ICT × みどり</p> <p>ICT技術を活用して、みどりの効果を可視化。みどりの価値向上や、環境教育等へと展開。</p>
<p>2</p>  <p>ACTION 08 サステナブル</p> <p>ACTION 01 グリーン・コミュニティ</p>	<p>脱炭素 × みどり</p> <p>温室効果ガス吸収などみどりの環境形成効果を活用。持続可能な環境形成により、豊かな社会づくりを推進。</p>
<p>3</p>  <p>ACTION 14 学び</p> <p>ACTION 01 グリーン・コミュニティ</p>	<p>体験・学習 × みどり</p> <p>デジタルなどの新技術を活用し、誰もが楽しめるみどりの体験や学習の機会を創出。</p>
<p>4</p>  <p>ACTION 10 Well-being</p> <p>ACTION 13 スポーツ</p> <p>ACTION 01 グリーン・コミュニティ</p>	<p>健康・スポーツ × みどり</p> <p>健康やスポーツの視点から、みどりの活用を推進。健康寿命の増進により住み続けたいまちづくりへ展開。</p>
<p>5</p>  <p>ACTION 04 コミュニティ</p> <p>ACTION 07 コミュニティ</p> <p>ACTION 09 コミュニティ</p> <p>ACTION 12 コミュニティ</p> <p>ACTION 01 グリーン・コミュニティ</p>	<p>コミュニティ × みどり</p> <p>農や食などコミュニティ形成につながるみどりの要素を取り入れて、みどりと関わり楽しむ社会・文化へと展開</p>